

安全データシート

Safety Data Sheet

1. 製品名及び会社情報

管理番号 : MSDS W-001
 製品名 : 輝太郎
 会社名 : 装栄株式会社
 住所 : 大阪府大阪市西区安治川2丁目1番4号
 担当部門 : 管理部
 電話番号 : 06-6584-1791
 FAX番号 : 06-6584-1793
 推奨用途及び使用上の制限 : 業務用樹脂ワックス

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : 区分外
 健康に対する有害性
 急性毒性(経口) : 分類できない
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入:ガス) : 分類できない
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発ガン性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器毒性 : 分類できない
 (単回ばく露)
 特定標的臓器毒性 : 分類できない
 (反復ばく露)
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 環境に対する有害性
 水生環境有害性・急性 : 分類できない
 水生環境有害性・慢性 : 分類できない

GHSラベル要素

なし

注意喚起語 : なし
 危険有害性情報 : なし

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区別 : 混合物
 成分及び含有量 : 金属架橋型アクリル樹脂、高融点ワックス、アルカリ可溶性樹脂、非有機リン系可塑剤、グリコールエーテル系溶剤、レベリング剤(フッ素系)、消泡剤、他、水

| | |
|------------------------|--|
| 環境ホルモン疑義物質 | 原料として使用していません |
| 化学物質管理促進法(PRTR法)規制該当物質 | 原料として使用していません |
| シックハウス・スクール配慮(VOCの使用) | この製品には、室内空気汚染の原因とされる厚生労働省指針値該当13物質成分を原料として使用していません |
| 学校環境衛生基準該当物質 | 原料として使用していません |
| 改正建築基準法における建築内装材の規格 | 当該法律に言う建築材料には該当しません ホルムアルデヒドを原料として使用していません |

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 被災者は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水又はぬるま湯を流しながら十分に洗い流して下さい。
- 目に入った場合 : 絶対に目をこすらずに 15 分以上流水で目を洗い、もし異常があれば医師の診察を受けて下さい。(コンタクトレンズを装着している場合は速やかにはずしてから、同様の処置を行って下さい。)
- 飲み込んだ場合 : コップ 1~2 杯の水または牛乳などを飲ませて、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡消火剤、など
- 特有の消火方法 : ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な保護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - : 関係者以外の立入りを禁止する。漏洩場所を換気する。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、安全な場所に覆って密閉できる空容器に回収する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材二次災害の防止策
 - : 危険でなければ漏れを止める。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉塞場所への流入を防ぐ。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策 : (8.ばく露防止措置及び保護措置)に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
 - 局所排気・全体換気安全取扱い注意事項
 - : 換気の良い場所で取り扱うこと。眼、皮膚又は衣類に付けないこと。取扱い後はよく手洗いうがいをする。
 - 接触回避 : (10.安定性及び反応性)を参照。
- 保管
 - 保管条件 : 子供の手の届くところには保管しない。又、いたずら・悪用等されないようにする。水漏れのない屋内で凍結や40℃以上の高温になる場所では保管しない。日光から遮断する。凍結厳禁。
 - 容器包装材料 : 密閉式の破損しないものに入れる。例えば、ステンレス、ポリエチレン(HDPE)、ポリプロピレンなどの密閉可能な容器など。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気、通風をしながらご使用ください。本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
- 保護具
 - 呼吸器の保護具 : 通常の取扱いでは特に必要ない。状況に応じて着用する。
 - 手の保護具 : 耐薬品性の保護手袋を着用すること。
 - 目の保護具 : 保護眼鏡(例えば、普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
 - 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、ゴム長靴
 - 衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

| | |
|--------|----------------|
| 形状 | : 液体 |
| 色 | : 乳白色エマルジョン |
| 臭い | : わずかにアンモニア臭を伴 |
| pH(原液) | : 7.0~8.0 |
| 粘度 | : 2.0~4.0 |
| 不揮発分 | : 18.0~22.0 |
| 比重 | : 約 1.000 |
| 沸点 | : 約 100℃ |
| 引火点 | : なし |
| 自然発火温度 | : なし |
| 溶解性 | : 水に任意に溶解 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 安定性 | : 通常の条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の条件下では反応性はない。 |
| 避けるべき条件 | : 凍結、高温、光、過剰な酸素など。 |
| 混触危険物質 | : 酸性物質、酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触は避ける。 |
| 危険有害な分解生成物 | : 燃焼などにより CO 等の有害ガスを発生する恐れがある。 |

11. 有害性情報

| | |
|---------------------|--|
| 急性毒性(経口) | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 急性毒性(経皮) | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 急性毒性(吸入) | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 眼に対する重篤な損傷 ・眼刺激性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 呼吸器感受性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 皮膚感受性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 発がん性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 生殖毒性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 特定標的臓器(単回暴露) | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 特定標的臓器(反復暴露) | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|--|
| 水生環境急性有害性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 水生環境慢性有害性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| 生態毒性 | : 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。 |
| その他 | : (13.廃棄上の注意)を参照ください。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | : 廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。 量の多少に関わらず下水道以外の公共水域などへの排出は絶対に避ける事。 |
| 汚染容器及び包装 | : 容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 地域の規則に従う。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|--------|----------|
| 国際規制 | |
| 海上規制情報 | : 該当しない。 |
| 航空規制情報 | : 該当しない。 |

国内規制

- 陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
- 海上規制情報 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 海洋汚染物質 : 該当しない

15. 適用法令

国内適用法令

- PRTR 法 : 該当しない
- 化審法(特定化学物質・監視化学物質) : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない。
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない。
- 消防法 : 該当しない。
- 船舶安全法 : 該当しない。
- 航空法 : 該当しない。

16. その他の情報

問い合わせ先

- 会社名 : 装栄株式会社
- 住所 : 大阪府大阪市西区安治川 2 丁目 1 番 4 号
- 担当 : 管理部
- 電話番号 : 06-6584-1791
- FAX番号 : 06-6584-1793
- 引用文献 : 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 4 版

お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

又、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。

取扱う業者は、これらを参考として自らの責任に於いて、個々の取扱い等の実態に応じた、安全な使用条件で適切な処置をこざる事を理解した上で、使用されるようお願い致します。